

当協会ホームページ(会員ページ)にて カラー版「瓦版」を公開しております。会報「KANAGAWA」のページをご覧ください！



〈今後の講習会等開催日程のお知らせ〉

～各講習会等の詳細はホームページ(URL: <https://www.j-kana.or.jp>)よりご確認ください～

※講習会等行事は、状況により、延期・中止または規模を縮小しての実施となる可能性がございます。



委員会主催 講習会等

～すべてZOOMを使用したWEB講習となります～
オンライン申込はこちらから ⇒ <https://j-kana.net/>

案内同封

◆『雨漏りの調査方法・調査報告書の書き方』講習会

日時:①令和3年7月21日(水)13:30～15:30(ライブ)
②令和3年8月12日(木)10:00～12:00(録画)
③令和3年8月12日(木)13:30～15:30(録画)

内容:・調査方法実例
・調査報告書の書き方実例(依頼からの流れ)
・雨漏りに関連したディテール

※ZOOM ウェビナーを使用した Web 講習となります。

※①:ライブ配信 ②③:①の内容の録画配信
3日程とも内容は同一です。

※「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」必修研修です。

資格講習

◆令和3年度 既存住宅状況調査技術者(新規・更新) オンライン講習

【第2期(予定)】

申込期間:令和3年8月1日(日)～8月14日(土)

受講期間:令和3年9月1日(水)～9月21日(火)

※第3期以降は決まり次第お知らせします。

詳細・申込は(一社)日本建築士事務所協会連合会 HP より
ご確認ください ⇒ <https://www.njr.or.jp/inspection/online/>

※更新講習は、令和4(2022)年3月末までの有効期限の
修了証をお持ちの方が対象となります。

前回の受講団体が異なる場合も受講可能ですので、
当会にてぜひ受講下さい！

※新規講習は、Webカメラを使用した顔認証(生体認証)を
行います。Webカメラが無い場合、受講いただけません。
(更新講習は、カメラ不要です。)

法定講習

～詳細は当会HP内「法定講習」ページよりご確認ください～
⇒ https://j-kana.or.jp/office/office_training

◆令和3年度 第1期 建築士定期講習

日程:令和3年6月29日(火)

場所:横浜市技能文化会館多目的ホール

※平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

に前回の定期講習を修了された方が対象となります。

受講期限:令和4年3月末まで

修了日が上記期間の方は、ぜひ神事協にて受講ください！

1テーブル
Social
1人予定
Distance

◆令和3年度 第2期 管理建築士講習

日程:令和3年9月16日(木)

場所:神事協会議室

1テーブル
Social
1人予定
Distance

お知らせ

◆販売書籍送料の一部無料化について

書籍の発送方法について見直しを行い、対象書籍(9種類)
については“送料無料で”なりました。

詳細・申込は当会HP内「書籍等の販売」ページより
ご確認ください ⇒ https://j-kana.or.jp/office/office_book

広報情報委員会からのお知らせ

◆◆ 広報誌への情報提供・寄稿のお願い ◆◆

裏面記載の表紙写真のほか、
「建築探訪」・「会員仕事紹介」・「旅行記」等
原稿や記事になる情報を募集しております。
事務局まで“どしどし”ご応募ください！

裏面記事:神事協認定同好会【省エネ性能研究会】

本記事は5月25日時点の情報をもとに編集しております。

神事協認定同好会 【省エネ性能研究会】

広報情報委員会 担当副会長 DAITOC一級建築士事務所 大和田 優

本年4月の統括委員長会で、【省エネ性能研究会】が神事協の認定（神事協認定第2号）を受けました。この研究会（略称：エネ研）の目指している活動方針および内容を、統括委員長会に提出された同好会設立届から抜粋して皆様へお届けしたいと思います。

【神事協認定】省エネ性能研究会 設立趣意書

昨年10月、菅総理は2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

3月19日に閣議決定された住生活基本計画（計画期間：2021～2030年度）では、50年カーボンニュートラル実現に向けた基本施策の一つに、住宅の省エネルギー基準の義務付けや省エネルギー性能表示に関する規制など更なる規制の強化が謳われました。

また、規制措置の強化やZEHの普及拡大、既存ストック対策の充実など、脱炭素化の取組みに関する「バックキャスト型ロードマップ」を策定する姿勢を初めて示し、ロードマップの検討結果を踏まえ、21年度内に見直される地球温暖化対策計画とエネルギー基本計画に、住宅ストックの省エネ基準適合割合とZEHの供給割合目標を盛り込むこととしています。

これら背景から、建築物省エネ法の改正を見据えた住宅の省エネ基準適合義務化に向けた準備を進めることは喫緊の課題であり、さらに新築住宅のみならず既存住宅の省エネ性能向上に関する提案力の強化についても同様のことが言えます。

一般的に、現時点での省エネ計算を実施可能な建築士は5割程度と言われている中、省エネに関する技術の取得や必要な情報の獲得を目指して活動します。

また、神事協会員の7割以上が住宅の設計監理に携わっていることから、活動を通して得られた結果を神事協会員へ積極的に還元する所存です。

よってここに、【神事協認定】省エネ性能研究会の設立を發起いたします。

令和3年4月21日

発起人一同

エネ研の活動は6月末から本格的に始動する予定ですが、現在のところ、国や業界団体の関連記事、省エネ技術に係る新たな試みなどの各種情報をメールで共有しています。

共有情報の一部を紹介すると・・・

●米国主催の気候サミットで、2030年度に温室効果ガスを13年度比で46%削減（今までは26%の削減）する新目標を国際社会に表明！さらに、2050CNに向けて50%削減の高みに向けて挑戦[4/26日:建通新聞]
※2019年度の削減率は14%だから、残り9年で46%減、これって・・・
住宅・建築物を含む省エネ対策の抜本的強化は待ったなしだね！

●地域脱炭素ロードマップの骨子
CO2排出実質ゼロを2030年までに実現する脱炭素先行地域を100箇所以上で創設、先行地域内で新築する建築物はZEH・ZEBを標準とする。

●東大準教授・前真之氏のセミナー案内、「ネット・ゼロエネでは電気代の不安はなくなる。」
「売電・買電に頼らず、冬も太陽エネルギーだけで自立できるオールタイムのリアルZEHが求められる。」

【省エネ性能研究会 令和3～4年度活動方針】

- YKKのフリー計算ソフトの活用（わかる施主説明の技術やトークスキルを学ぶ）
- 入力に必要なスキル勉強会（IBEC編の基準解説をまとめた自主製作資料による）
- 申請に必要な資料等の整理（自主適合宣言書、熱伝導率等物性表、エネルギー効率などの資料収集）
- 建設費を考慮した費用対効果の検証（各種断熱材の性能と価格＋労務費etc.のデータ収集）
- 研究会で取り纏め整理のうえ、WEB講習（4部構成）を作成

活動に興味ある方は事務局へ御一報ください。エネ研から資料等をメールでお送りします！（了）